平成24年度 天草地域自立支援協議会専門部会児童部会会議 議事録

平成25年 2月 5日

時間 10:00

場所 天草市市役所 本庁 3階 第5会議室
参加者 天草市社会福祉課
天草市教育委員会
子育て支援課「こども総合相談室」
天草支援学校
苓北支援学校
相談支援事業所 第2はまゆう療育園

(1) 事例報告 H25・1・17定例会報告から・・・事例報告書は添付資料①・・・

(2) 検討課題の抽出

今回の5名の保護者からの事例報告から、いくつかの報告がなされた。

その中から、共通して出された要望に「個別の支援計画・指導計画が保護者の知らない所で立てられ、その説明も殆ど無いため、学校側と共通理解が出来ない」「保護者の願いを話し合う機会を積極的に設けて欲しい」が上げられた。

よって今回は、保護者と学校側の思いを共通理解できるように「個別の支援計画・指導計画」の活用方法に絞って課題検討を行う

・・・「フェイスシート、個別の支援計画、個別の指導計画」の記入例に関しては添付資料②・・・

(3) 支援校からの報告提案（「フェイスシート、個別の支援計画、個別の指導計画」の活用について）
「苓北支援学校」

殆どの児童生徒がはまゆう療育園に入所されている方々の為、頻回に保護者とお会いする事は出来ないが、月に1回発行の学級通信や電話連絡等で関係作り心がけている。そこで保護者の願いをお聞きしたり、学習の内容のお話をしている。

また、授業参観等においていただける保護者には、1学期の早い段階で個別に面談を行い支援計画・指導計画についてお話しする。参観等に関しても、年間5回の行事等を計画し、なるべくたくさん保護者の方々に会い出来るように工夫している。

「天草支援学校」

学校独自の「フェイスシート（プロフィールシート）、個別支援計画、個別指導計画」を作成し、小学1年から中学3年まで、3年おきに保護者と関係機関を集めて個別支援会議を行っている。

個別の指導計画に関しては、学期ごとに内容を検討更新し、保護者に説明を行っている。また、課題があればその時に随時担当者会議を行っている。プロフィールシートと個別支援計画には保護者の同意を頂き、保護者の思いをしっかりと受け止め共通理解の為の努力を行っている

(4) 教育委員会からの対応策提案

○個別の支援計画、指導計画等の諸計画の作成について

フェイスシート、個別の支援計画、個別の指導計画等の作成・活用の充実は、天草教育事務所、天草市教育委員会の重点事項の一つであり、児童生徒一人一人のニーズに応じた具体的な計画を、本人・学校・保護者の連携を通して作成されるものである。特に、「個別の教育支援計画」は家庭生活の支援内容を書く欄もあり、学校側だけでなく保護者の共通理解を得ながら作成するようになっている。各園・校においては、計画作成から実践、反省、改善までが年間を通して確実に行われるよう配慮するとともに、保護者にも十分な説明を行い、理解と協力を得る必要がある。作成上の留意点については、次年度への志向として記録し、改善を図る。

○各会議、研修等を通しての取組

特別支援教育に関する各研修、会議等において、本年度の天草市特別支援教育推進事業の成果と課題を検討し、各地区、各園・学校での取組のさらなる充実を図る。

【具体的取組】

- (a) 第2回リーダーコーディネーター研修 期日：平成24年12月26日（水）

研修を通して、個別の支援計画、個別の指導計画の活用(加筆・修正)及び、保護者との連携強化に向けた取組の充実の必要性等を担当より説明した。平成25年の1月から2月に各中学校区で行われるコーディネーター会議でも、上記の趣旨について各地区のリーダーコーディネーターからの説明を通して周知を図る。

- (b) 天草市内校長会議 期日：平成25年1月21日（月）

来年度の計画、教育課程の作成において、本人のニーズや保護者の思いなどが反映された双方向性のある計画作成を依頼する。

- (c) 第2回特別支援教育推進会議 期日：平成25年2月14日（木）（予定）

天草市特別支援教育推進事業における重点項目の評価結果をもとに、本年度の成果と課題を報告する。

(5) 協議

- ・「個別支援計画・指導計画」作成に関して、特別支援クラスの担任教諭対象の研修が必要であるが、これを巡回相談で対応するか、リーダーコーディネーター会議で周知を行い、その後、地区コーディネーターから担任へと広げていく事とする。
- ・「個別支援計画・指導計画」の書き込み方に関しても指導・研修等が必要であるが、その活用方法、保護者の思いの傾聴方法、個別担当者会議に関する開催方法等々、「個別支援計画・指導計画」を活用して、保護者と連携し共通理解するという目的の達成方法に関しても、担任教諭および学校全体の職員に共通理解が必要。これに関しても上記周知方法により充実を図る。
- ・「フェイスシート、個別支援計画・指導計画」を広く保護者の方にも知っていただき、担任及び学校側からの保護者への呼びかけだけでなく、保護者の方からも学校側とのより良い連携を作る投げかけが出来るように、自立支援協議会ホームページに載せる事により周知を図る。
- ・各学校間での取り組みの格差が大きいように思われる。熱心に取り組まれている特別支援クラスでは、保護者との思いの共通理解も進んで、計画作成から実践、反省、改善までが年間を通して確実に行われている。

(6) その他

H23年8月5日に障害者基本法の一部を改正する法律が公布・施行された。

その中から教育の条文を抜粋すると

- ・可能な限り障がい児とそれ以外の生徒とが共に教育を受けられるように配慮しつつ、必要な施策を講じなければならない。
 - ・上記の為に、生徒並びに保護者に対し十分な情報の提供を行うと共に、可能な限りその意向を尊重しなければならない
- と、改正された。

・・・詳細に関しては、添付資料③・・・